

第9期 修了される皆さまへ！

コロナ感染拡大で開講が危ぶまれた中で新学期が始まりましたが、開講早々大阪府にまん延防止が発令され、間もなく緊急事態宣言発出で4月26日～6月27日迄休校を余儀なくされました。ようやく、6月28日より開校の運びとなりましたが、三度8月2日～9月30日の間休校、結果的には10月1日よりの再開校となりました。

受講生の皆様方には、一堂に会する入学式・ふれあい交流祭・大学提携講座等の催しは無く、また大幅なカリキュラム・教室の変更により、大変ご不便・ご迷惑をお掛けした事を深くお詫び申し上げます。

修了式を迎える時期を迎えましたが、再びオミクロン株の感染拡大にあり、1年間の集大成でもある学習成果発表会、修了式を無事迎えられることを願うばかりです。

2年越しのコロナ禍での学校運営で、クラスアドバイザーの皆さまを始め関係各位にも大変なご苦勞を頂いたことに改めてお礼申し上げます。10期こそは、コロナの収束・With コロナで、飛躍の年として、シニアの学びの場だけではなく、子ども達との多世代交流や他団体との協同事業を勧め、コロナ禍で苦勞したシニアと子供たちが同じフィールドで学べる環境づくりを目指してまいり所存です。つきましては、修了される皆さまが、地域・クラス会・各地域同窓会・SA会・ONCC等の活動に、より積極的に参画して頂くことを願っています。【理事長 猪谷義弘】



～コロナ禍の講座から～

知らなかったあんな話こんな話 (大阪府シルバーアドバイザー養成講座) 豊中教室

～ 埋もれていた地域文化の発見 ～ 【担当CA：高山アケミ】

コロナ禍で抜けた講座数を確保するため、年末のクリスマスイブの日にも講座があり、また年始の6日から学習する等、ハードな日程になりましたが、その時々の講座を楽しんでいます。

年末には教室で、それぞれの班が分担し、豪華な料理やお酒はなくても、おいしいお弁当やお菓子を食べ、クイズ・脳トレ、期末テストなど趣向を凝らして親睦会を楽しみました。

後6回でこの講座も終わります。

コロナ禍ではありましたが、受講生の皆さまはパワーいっぱい成果発表に向けて着々と相談も進み、和気あいあい、とても楽しい科です。【文：高山アケミ】



「菅原道真の先祖は渡来人だった！」…へ～！…

水彩科 吹田教室

～ 描く楽しさを味わう ～ 【担当CA：多田文男】



残り2回の講座となりました。最後の課題となった「人物・自画像」を描くために各自が自身の姿に向き合っているのを見ていると、その真剣な眼差しに1年間の成長を感じました。

土方先生のユーモアを交えた講義は、その時は「ウンウン！」と納得し、いざ描く段になると実践が伴わない場合もあったりしながら！

ともかく皆さん描き続けましょう！ 【文：担当教務 田中一代】

美術アドバンス科 高槻教室

～ 個性の再発見 ～ 【担当CA：村主正夫、笠井ひかり】

何とかカリキュラムが終わろうとしています。美術アドバンスでは土方先生のご指導により、授業前のデッサンが受講生の皆さんに浸透してきたように思います。秋に行った裸婦デッサンも受講生の皆さん、短時間で凄く描いておられました。

ただ午前、午後と受講生が分かれて講義等を受けなければならず、コミュニケーションが余りはかれなかったのが残念でしたが、現在の状況下ではしかたないかもしれません。

コロナ禍で心配する、不安になる、戸惑う、躊躇する等の言葉に翻弄されています。笑顔で楽しく過ごせる日々を早く取り戻したいものですねえ！ 【文：村主正夫】



ぶらっと散策2 吹田教室

～ 背筋を伸ばして楽しくウオーク ～ 【担当CA： 小山哲夫、藤原清子、岸本佳奈子】

4月から2週で休校になり、7月から講座が再開しましたが、9月は再休校と落ち着かない日々を過ごすことになりました。そして、10月から本格的に講座が始まりホッとしている現在ですが、オミクロン株がまん延し、心配していますが、卒業まで何とか講座を続ける事ができますよう念じています。

受講生の皆さんは、現在40名で、4班に分かれて班長を中心にそれぞれ担当があり、CAとしてとても助かっています。

皆さんは健脚で、体調を崩すこともなく、楽しく会話をしながら歩いている姿を見るたびに、私も頑張らなくては！と気持ちを奮い立たせています。

今後、班ごとに、テーマにそって成果発表会が予定されています。班活動として外に出かける事も多くあると思いますが、班が一丸となって、目的を達成されることを楽しみにしています。 【文： 藤原清子】



醸造の世界を楽しむ 豊中教室

～ 食卓に不可欠な醸造・発酵を学び、日々を豊かに ～ 【担当CA： 野田則子、山岡美之】

初めての講座、スタート時点で様々な課題と悩みを抱えながらスタートしました。特に講師の先生方にはコロナの影響でほとんどお会いしたことがなく、こわごわのスタートでした。

案の定、コロナが拡大し、休校を余儀なくされました。その間、スケジュール変更、教室、先生の確認、調整と思ったら休校延長、またその繰り返し。流石に4～9月の上期はお疲れモードでした。

ここまで講座を進めることができましたのは、先生方のご協力の賜物と思っています。また、受講生の皆様もたびたびの教室の変更、ダブルヘッダーにも我慢していただきました。共に感謝！

今、また再拡大の気配濃厚ですが、今は「なるようにしかならん！」と思いながら進めております。

幸いなことに、コロナ禍にもかかわらず受講生の皆さんは仲間づくりを進め、本学の理念を着実に実践されていることに安堵と喜びを感じる今日この頃です。 【文： 山岡美之、野田則子】



楽しく味噌づくり

特別年度制講座 くらし～MY LIFEを楽しむ科 吹田教室

～ シニアからの出発 ～ 【担当CA： 秋江礼子】

先日の授業で、コロナ禍の中、イタリアで演奏されたエンリコ・モリコーネの曲の演奏がありました。聴いていく中でこの間のことが走馬灯のように思い返されました。受講生、CAは消毒、換気、密に気をつけ、誰も感染者を出さない様に肩に力がいっていました。

もう落ち着くのかなあと期待していた時、4月の授業で「このコロナは侮ってはいけない。元の生活に戻るにはしばらくかかる。」と聞いて溜め息が出たのを覚えています。

午前だけの授業で食事会もままならない中、校外学習が一度ありました。

縁あって出会うことのできた皆さんが、色々と趣味を持って日々を過ごされていることを教えて頂き、お互いを知り合えるいい機会でした。このような日々が早くきますように！ 【文： 秋江礼子】



特別年度制講座 日本近現代史 池田教室

～ 激動の時代を新しい視点から学ぶ ～ 【担当CA： 高橋俊之】

夏の暑い日も冬の冷たい日も教室の入り口のドアを開放し、換気に努めるなど、感染予防対策にも一人ひとりが高い意識を持ち、感染者を一人も出すことなく1・2学期を無事終了することができました。



特別年度制講座は午前中のみの学科なので、講義開始前に、10分間ほど時間を戴き、諸連絡を行っています。

また、受講生への連絡は班長さんに担当いただき、必要に応じて班長会議を有効に活用し、クラスを運営しています。

懸案だった校外学習も自主的に計画し、盛会裏に終了することができました。

2月末まで3学期の講座が続きますが、クラスの仲間づくりの確かな土台ができるよう、楽しいカレッジライフを送って欲しいと願っています。 【文： 高橋俊之】

関西の城探訪科 豊中教室

～ 武将の夢を肌で感じる ～ 【担当CA： 佐藤敬一、中野保子、福原 寛】

今年度もコロナ禍により少々日程の変更を余儀なくされましたが、受講生の皆さんの「お城好き」の熱意に支えられ、楽しい



講義と現地での実のある城探訪を無事に実施することができました。

事前資料や現地ガイドの解説に合わせて、初めて訪ねた城跡・石垣・土塁・堀切跡など各種の遺構から新しい知識や発見を得ることができたのが大きな収穫です。有名どころの大阪城や二条城などからも近年続々と新資料や証拠が発見されており、ワクワクが止まりません。

ちょっぴり汗をかきながら自分の足で歩いて、少し空想を膨らませながら、たっぴりと歴史のロマンを楽しむことができた1年でした。【文：福原 寛】

特別年度制講座 騒乱と人物からの日本史 茨木教室 ～ 争いには人あり ～ 【担当CA：杉谷茂治】

初めてCAを務めました。やっと講義サポートの段取りを理解したときに休校になり、再開後には講義が毎週続き、終日講義の日もありで大変でした。

CAが一人なので教室準備(机の設営、PC・プロジェクター設置、座席表掲示など)が慌ただしく、受講生の皆さんにお手伝いいただきながら何とか準備しました。

当学科では4つの班を編成しました。班内のコミュニケーションのために班ごとにまとまって座っていただき、毎回班の座席をローテーションしました。

特別年度制講座で、班活動の時間も無く、ONCCの活動理念「仲間づくり」の工夫ができなかった点を反省しています。

ただ個人的には、聴講とブログ作成で中世の事件のポイントを詳しく勉強できたことと、多くの受講生の方と知り合いになったことがいい経験になりました。この経験を今後の活動に活かしたいと思っています。【文：杉谷茂治】



特別短期講座 総合文化を学ぶ科 豊中教室 ～ 懐徳堂記念会協力講座 ～ 【担当CA：山田豊実、田中美千子】



2021年度の総合文化を学ぶ科は、4月にオリエンテーションを実施しましたが、その後すぐにコロナにより休校となりました。6月末に初めて講義を開始できましたが、8月からは再び休校になり、10月からやっと講義を再開することができました。

この間、補講会場の確保と講師の日程調整に苦心しましたが、受講生のみなさまにも、あちこちの会場へ行くことになり、ご苦労をおかけしたと思います。

しかしながら、皆様方のご協力により、優秀な講師陣によるいろいろな分野の興味深い講義を実施することができました。ありがとうございました。【文：山田豊実】

特別短期講座 三国志を楽しむ科 高槻教室 ～ 中国文学・中国史 ～ 【担当CA：久慈良政】

度々緊急事態宣言が発令され、8月、9月は休講が続きましたが、10月から再開。講義再開に当たり、広い部屋に変更し、椅子は1人2脚として間隔を広くとれるようにすると共に、換気のためドアや窓を開けました。そのため寒い思いをされた方もおられたと思いますが、コロナリスク低減のため了解して頂きました。

この冬からオミクロン株が猛威を振るい油断できない状況ですが、基本的な注意事項(マスク、手洗い、禁近接)を一層徹底して頂き、後一回の講座を完遂したいと思います。【文：久慈良政】



特別短期講座 再発見！なんでも見てやろう 現地集合 ～ 総合文化体感講座 ～ 【担当CA：池上憲治、岡村昇二/廣瀬雅人、山上田起子】



4月から月1回の現地集合・解散で10回の予定、企画でしたが当科も新型コロナの影響はもろに受けました。5月の植物鑑賞をもってこの京都府立植物園は6月下旬以降に変更し、受講生が楽しみにしていた文楽鑑賞も7月にズレました。しかし、連絡網で確実に連絡をして頂いた事に感謝します。

執筆時点で後2回ですが現時点で、オミクロンのまん延の兆しがあり無事に実行できることを願うばかりです。

この一年事故もなく来られたのも皆さまの協力の賜物です。有難うございました。【文：廣瀬雅人】

特別短期講座 一味違うフランス観光案内 東淀川区教室 ～ フランス文化の絢爛豪華な流れ ～ 【担当CA：黒木武紀】

コロナ下で8月～9月の講義を10月～11月へとカリキュラム変更せざるを得なくなり、過密な日程で講師の和田先生、受講

生の方々にご無理を申し上げましたが快く受け入れていただきました。講義日変更にも拘わらず欠席者の少ない素晴らしい教室となり感謝しています。

教室トピックスとしてのブログ作成では、初回を除いて受講生の方に講義の内容やご感想を綴っていただきました。このことを通して色々話し出来たことは私にとって今期プランしたことであり印象深い教室となりました。

来期はコロナが収束してさらに楽しい教室になるよう祈念しています。ありがとうございました。【文：黒木武紀】



特別短期講座 日本伝統芸能の魅力に迫る 茨木教室 ～ 日本の伝統芸能を学ぶ ～ 【担当CA：黒木武紀】



コロナに翻弄された今期の講座でした。その中で少し苦勞だったことは受講生の方々への能楽堂見学会(10月)の案内書を教室で配布(8月)出来なかったことです。出欠と能舞台に上がるための白足袋のレンタル要不要の確認でした。

こんなこともあった見学会でしたが、講師の北見先生の全面的なご支援を得て初めて能楽堂を舞台裏から鏡の間～橋掛かり～能舞台の雰囲気を感じ取る貴重な経験が出来ました。

一方、教室の講義が午前と午後と亘ることもありましたが受講生の方々にはご理解頂き感謝しています。

いろいろなことが有った今期ですが印象に残ることになりました。【文：黒木武紀】

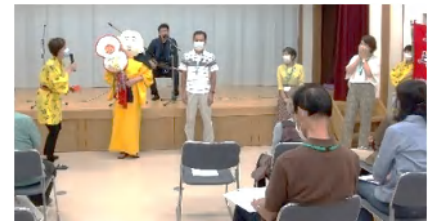
特別短期講座 心を豊かにする音楽科 池田教室 ～ 音楽のなりたちと生演奏を楽しむ ～ 【担当CA：吉田優子】

緊急事態宣言が出ていない4月と7月で4回、10月からようやく本格的に再開しました。毎月2～3回実施した結果、2月初旬に全てのカリキュラムを完了することが出来そうです。

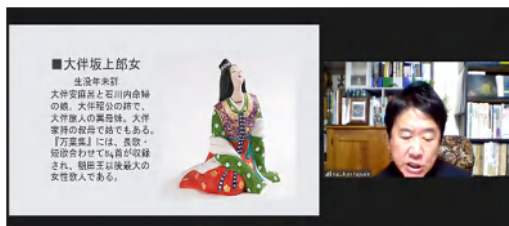
クラシック音楽の他に、ジャズ、カンツォーネ、フアド、ホーミーなど世界の音楽や、日本の伝統的な箏、尺八といった楽器についても学び、プロの演奏を楽しみました。

コロナ感染予防には細心の注意を払い、感染がやや収まった時期には、能の謡や尺八を体験し、沖縄のサンシンの講座では「弥勒様」に願いを聞いてもらうなど、参加型講座の醍醐味を満喫していただきました。

受講生の皆さんには、無事残り2回の講座を楽しんでいただけることを切に願っております。【文：吉田優子】



オンライン講座 日本史をにぎわせた女性たち(古代編) ～ オンライン歴史講座 ～ 【担当CA： 鷲 靖幸】



1月24日の講座は 万葉集きっての才女「大伴坂上郎女」でした。

林先生の講義中、たくさんの和歌を歌い、そして現地レポート動画も有ります。

時代に翻弄される女性たちですが、多くの恋の物語もあり楽しい講座です。

講義の冒頭に、受講生から寄せられた先月の講義の感想や質問を読み上げ、解説、回答して頂きます。2月はいよいよ最終回、野心家の悪女「藤原薬子」！どんなドラマが展開されるか、とても楽しみです。【文：鷲 靖幸】

オンライン講座 四季とおきの「京都」 ～ オンラインで古都を感じる旅へ ～ 【担当CA： 藤林香澄】

オンライン講座は、予定通り4月より開催されました。京町家『らくたび』からされる配信は、京都をこよなく愛する若村先生と京都で生まれ育った谷口先生の講義で、日々の生活を絡めたお話が随所にあふれているのでイメージが湧きやすく分かりやすい講座でした。

京都の伝統的なくらしや豊かな歴史を楽しく知る事が出来るので毎回ワクワク！行事の謂れや習わしを知る事で、今までと違った視点で京都を楽しめた1年でした。

暖かくなり今の状況が落ち着いたなら、講座で詰め込んだ情報を元に、行ってみたいと思った場所や行事に足を運んで頂いて、さらに意味のあるものにして欲しいと思います。

不安定な時期でも影響される事もなく、お楽しみ頂くことができるオンライン講座、沢山の方に楽しんでもらえるようスタッフ一同力を合わせていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。【文：藤林香澄】



編集後記： コロナに悩まされ続けて、2年が経ちました。予防ワクチン、治療薬等、コロナと戦う武器も少しずつそろってきましたので、Zero コロナは無理でも With コロナで共存しながら、一日も早く元の生活を取り戻したいものですね。(浜)